

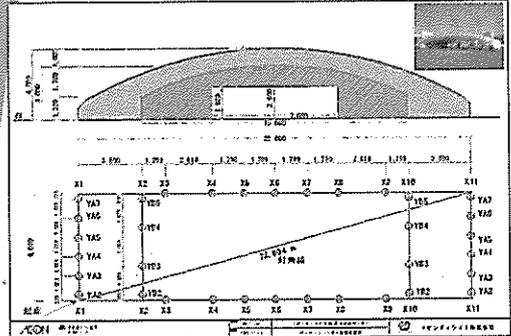
令和 6 年度奈良県防災総合訓練 避難所アセスメント訓練について

令和 6 年 9 月 2 日 (月)

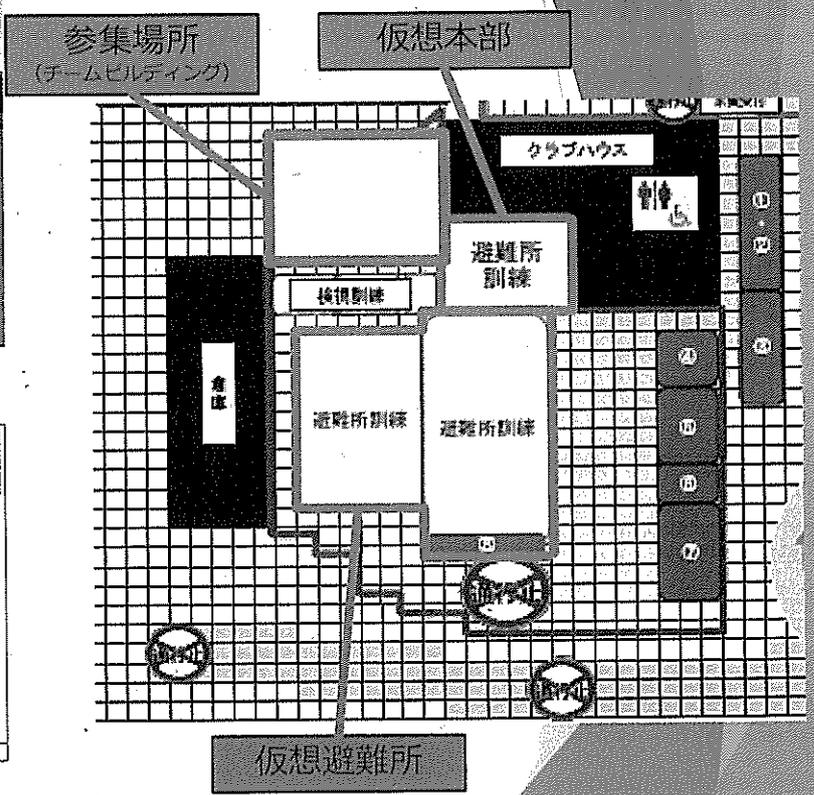
◎会場レイアウト



奈良市都祁生涯スポーツセンター
奈良市都祁馬場町846番地の5

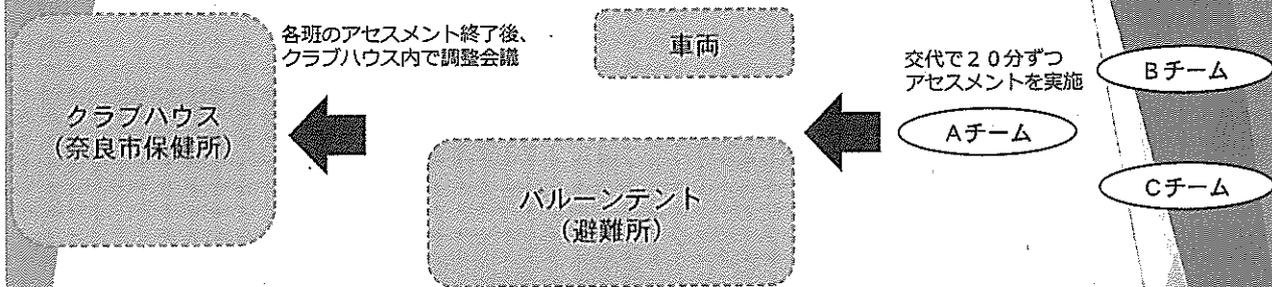


バルーンテント 1 基にテント数基を連結
面積は約180m² (12m×15m=180m²)



◎訓練ルール案

- 避難所は1カ所とし、車中泊を想定した車両を準備。3班に分かれ、避難所及び車両のアセスメントを実施



- 1チーム約20名、避難者役30名（うち車両6名：2名×3台）
- 各チームにおいて、リーダー及び記録係を設定（チームビルディング）。各班の役割をホワイトボードに記載。
- 各チームの構成は、基本的には他職種による混成チームとするが、実災害時の活動形態等を鑑み調整（資料2参照）
- リーダーは避難者役、施設管理者からの効率的なヒアリングの段取りなどを中心となって調整
- 避難所の情報を入口付近に掲示
- 記録係はアセスメントの内容をJ-Speed+、ラピッドアセスメントシートに記入
- 救護班調整会議において、集約した情報を共有 アセスメントシートに記載した内容はアセスメント終了後、クラブハウス内のホワイトボードに掲示した表に情報を記入
- 振り返り会議において、立案した方針についても検証

◎確認・依頼事項

< 依頼事項（奈良市、防災士会） >

➤ 避難者役、避難所管理者役へのティーチング

- ⇒ 避難者役の方に傷病設定を伝達し、演技を依頼
- ⇒ 避難所管理者の方に避難所設定を伝達し、演技を依頼

➤ 会場設営

- ⇒ 車両3台の設置 県防災統括室と連携し、車両の設置
- ⇒ 会議室内への机、椅子のセッティング

< 依頼事項（各機関） >

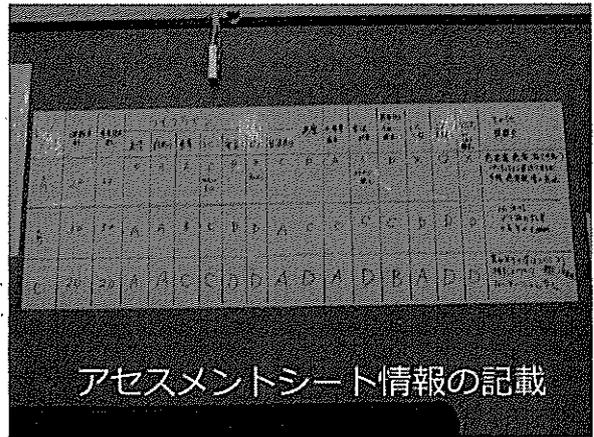
➤ J-SPEED+の事前登録等

- ⇒ 「J-SPEED+スマートフォンアプリ操作手順書」や、「医療救護班の診療情報管理について」をもとに、参加者に対して、アプリのダウンロード、事前設定、所属チーム名の確認、診療日報の入力手順などをティーチング。

☆本日、会議終了後に、J-SPEEDの登録や使用方法に関する説明を行います。

◎調整会議・振り返り

- ◆ 奈良市保健所に設置される本部を想定。奈良市内避難所のアセスメントを終えた医療救護チームは本部へ帰還し結果を報告。集約し、今後の対策を協議し、検討する。
- ◆ J-SPEEDに入力した内容（スマートフォンで入力）を統合集計報告書で共有。ラピッドアセスメントシートへの記載内容はホワイトボードに班ごとに転記。
- ◆ 収集した情報をもとに、チームごとに今後必要な支援内容を検討。決定した支援内容を比較。
- ◆ 机・椅子の数に限りがあるため、各機関の代表者1名と、チームリーダーが参集。
- ◆ 会議終了後に、振り返りとして、訓練に参加した感想や、感じた課題、立案した方針への意見等について発表



アセスメントシート情報の記載

◎準備物品

物 品	準備機関	数 量
長机（調整会議用）	事務局	9
パイプ椅子（調整会議用）	事務局	18
プロジェクター、スクリーン、HDMIケーブル（調整会議用）	事務局	各1
ホワイトボード	事務局	3
ホワイトボードマーカ（赤、青、黒）	県福祉総務課	各色3
ホワイトボードシート（白色）	県福祉総務課	2
ワイヤレスマイク（3）、スピーカー（1）（調整会議用）	事務局	1
車中泊用車両	事務局	3
コードリール（AC100V）（調整会議用）	事務局	1
災害診療記録2018	県福祉総務課	40
ラピッドアセスメントシート	県福祉総務課	5
その他、設営訓練に必要な物資	-	設営訓練で用意